



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月13日

上場会社名 東京汽船株式会社

上場取引所 東

コード番号 9193 URL <http://www.tokyokisen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 宏之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 佐藤 晃司

TEL 045-671-7713

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,037	6.2	188	66.0	395	47.9	180	69.4
2019年3月期第2四半期	6,435	4.8	553	52.6	759	35.4	588	40.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 149百万円 (79.8%) 2019年3月期第2四半期 740百万円 (70.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	18.10	
2019年3月期第2四半期	59.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	27,470	21,368	74.4
2019年3月期	27,803	21,478	73.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 20,425百万円 2019年3月期 20,485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				25.00	25.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,923	6.2	141	84.0	470	62.5	321	68.1	32.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	10,010,000 株	2019年3月期	10,010,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	62,902 株	2019年3月期	62,867 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	9,947,115 株	2019年3月期2Q	9,947,133 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、米中貿易摩擦の影響や中国経済の減速の煽りを受け輸出は減少に転じました。個人消費は、消費税増税前の駆け込み需要も見られ改善しました。しかし、相次ぐ自然災害により甚大な被害が発生し、国内経済の不安定要因となっております。

当社グループの主たる事業である曳船事業を取り巻く状況につきましては、輸出環境の悪化により製造業を中心に輸出産業が低迷するなか、東京湾への入出港船舶数は減少いたしました。

このような経済環境のなかで、当社グループは総力を上げて業績向上に努めましたが、売上高は前年同期に比べ397百万円減収と大幅に落ち込み6,037百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

利益面では、原油価格は落ち着いた展開となり燃料費は横ばいに推移しましたが、減価償却費の増加に加え当社グループ全体での大幅な減収が響き、営業利益は188百万円（前年同期比66.0%減）、経常利益は395百万円（前年同期比47.9%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、旅客船事業及び売店・食堂事業で214百万円の減損損失が発生したため180百万円（前年同期比69.4%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりです。

曳船事業

曳船事業は、横浜川崎地区では、大型タンカーの入港数は増加したものの、自動車専用船やLNG船を中心に減少し減収となりました。東京地区では、コンテナ船の入出港数が減少し大幅な減収となりました。横須賀地区では、LNG船の入港数の減少が響きエスコート作業や荷役中の警戒作業が減少し、さらに、前年同期には増収要因となった特殊海難救助作業があったため当四半期は減収となりました。千葉地区でも同様に、大型タンカー、LNG船等の危険物積載船やバルカーの入出港数が減少し減収となりました。

この結果、曳船事業セグメントの売上高は345百万円の減収となり4,380百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

次に利益面では、減収に加え営業費用のうち用船料や減価償却費が増加したため、営業利益は321百万円減少し232百万円（前年同期比58.0%減）となりました。

旅客船事業

旅客船事業は、横浜港における観光船部門では、第1四半期は10連休となったゴールデンウィーク期間中の利用客が増加し増収となりましたが、7月の天候不順の影響や9月に入り台風15号の到来で水上バス2隻に被害が発生したため減収となりました。

久里浜・金谷間を結ぶカーフェリー部門でも同様に、ゴールデンウィーク期間中の利用客が増加しましたが、上記の台風により千葉県全域にわたり甚大な被害が発生し減収を余儀なくされました。

この結果、旅客船事業セグメントの売上高は17百万円減少し1,325百万円（前年同期比

1.3%減）となりました。

利益面では、営業費用のうち修繕費が増加したため、営業利益は34百万円減少し25百万円の営業損失（前年同期は9百万円の営業利益）となりました。

また、10月に入り発生した台風19号や豪雨が千葉県全域にわたり及ぼした被害が今後の観光需要に与える影響を見込むことが難しく、カーフェリー部門での収益性を判断することが困難となったことで203百万円の減損損失を計上いたしました。

売店・食堂事業

売店・食堂事業は、旗艦店の金谷センターでは昨年からの団体利用客の減少が続いていることに加え、カーフェリー部門同様に千葉県全域にわたる台風被害等により売上高は34百万円減少し331百万円（前年同期比9.4%減）と大幅な減収となりました。

利益面では、減収により19百万円の営業損失（前年同期は9百万円の営業損失）となり、さらに、カーフェリー部門と同様の理由で11百万円の減損損失を計上いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、332百万円減少し27,470百万円となりました。

流動資産の部では、現金及び預金が573百万円増加しましたが、売掛金が305百万円減少し、その他流動資産が288百万円減少いたしました。固定資産の部では、土地を中心に214百万円減損し、建設仮勘定が船舶の竣工により156百万円減少いたしました。

負債は、前連結会計年度末に比べ、222百万円減少し6,101百万円となりました。流動負債の部では、支払手形及び買掛金が178百万円減少し、未払法人税等が123百万円減少し、その他流動負債が115百万円増加いたしました。固定負債の部では、長期借入金が66百万円減少し、退職給付に係る負債が33百万円増加し、長期デリバティブ債務が28百万円増加いたしました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、109百万円減少し21,368百万円となりました。これは主に剰余金の配当を248百万円実施し、親会社株主に帰属する四半期純利益が180百万円となったことで利益剰余金が68百万円減少し、その他有価証券評価差額金が45百万円増加し、非支配株主持分が49百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の73.7%から74.4%と0.7ポイント増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の連結業績予想の見通しにつきましては、曳船事業において入出港船舶数の減少傾向が続くものと予想され、さらに、旅客船事業及び売店・食堂事業では、台風等がもたらした甚大な被害による減損損失等の計上もあり、2019年11月8日発表の「業績予想の下方修正に関するお知らせ」にて修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,554,954	12,128,248
売掛金	2,382,914	2,077,011
商品	21,991	20,601
貯蔵品	92,966	89,065
その他	617,554	328,651
貸倒引当金	△2,856	△2,804
流動資産合計	14,667,524	14,640,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	239,302	210,268
船舶（純額）	6,061,535	6,092,371
土地	1,435,628	1,257,341
その他（純額）	239,428	77,335
有形固定資産合計	7,975,895	7,637,317
無形固定資産		
	68,395	75,697
投資その他の資産		
投資有価証券	1,831,661	1,901,938
関係会社株式	2,677,474	2,651,741
繰延税金資産	202,572	198,210
その他	482,822	468,055
貸倒引当金	△103,247	△103,248
投資その他の資産合計	5,091,283	5,116,697
固定資産合計	13,135,574	12,829,713
資産合計	27,803,098	27,470,487

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,022,385	843,462
短期借入金	1,528,584	1,528,599
未払法人税等	262,094	138,560
役員賞与引当金	40,000	20,000
賞与引当金	211,841	211,489
その他	309,541	424,788
流動負債合計	3,374,446	3,166,899
固定負債		
長期借入金	345,923	279,116
役員退職慰労引当金	496,311	477,531
特別修繕引当金	379,244	382,787
退職給付に係る負債	1,515,212	1,548,633
繰延税金負債	133,499	136,551
資産除去債務	3,151	3,174
負ののれん	2,373	—
その他	74,646	107,128
固定負債合計	2,950,361	2,934,922
負債合計	6,324,808	6,101,822
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,500	500,500
資本剰余金	75,357	75,357
利益剰余金	19,849,186	19,780,552
自己株式	△45,234	△45,260
株主資本合計	20,379,809	20,311,149
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222,785	267,958
繰延ヘッジ損益	△42,318	△61,989
為替換算調整勘定	△21,816	△50,864
退職給付に係る調整累計額	△52,627	△40,994
その他の包括利益累計額合計	106,023	114,110
非支配株主持分	992,457	943,405
純資産合計	21,478,289	21,368,664
負債純資産合計	27,803,098	27,470,487

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	6,435,005	6,037,115
売上原価	4,877,326	4,894,340
売上総利益	1,557,678	1,142,774
販売費及び一般管理費		
販売費	146,076	141,830
一般管理費	858,336	812,623
販売費及び一般管理費合計	1,004,412	954,454
営業利益	553,265	188,320
営業外収益		
受取利息	350	484
受取配当金	32,664	24,066
負ののれん償却額	4,746	2,373
持分法による投資利益	152,823	156,872
その他	31,183	34,310
営業外収益合計	221,768	218,107
営業外費用		
支払利息	9,943	9,471
貸倒引当金繰入額	3,999	0
その他	1,661	1,348
営業外費用合計	15,604	10,820
経常利益	759,429	395,608
特別利益		
固定資産売却益	198,448	91,383
受取保険金	—	20,000
特別利益合計	198,448	111,383
特別損失		
減損損失	—	214,278
災害による損失	—	29,611
特別損失合計	—	243,889
税金等調整前四半期純利益	957,877	263,102
法人税、住民税及び事業税	248,111	135,438
法人税等調整額	22,023	△12,551
法人税等合計	270,135	122,886
四半期純利益	687,742	140,215
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	99,226	△39,829
親会社株主に帰属する四半期純利益	588,516	180,044

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	687,742	140,215
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82,616	46,693
繰延ヘッジ損益	—	△19,670
退職給付に係る調整額	4,940	11,632
持分法適用会社に対する持分相当額	△34,379	△29,047
その他の包括利益合計	53,177	9,608
四半期包括利益	740,919	149,823
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	640,659	188,131
非支配株主に係る四半期包括利益	100,260	△38,308

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(2019年9月9日の台風15号による被害の発生)

2019年9月9日の台風15号の影響による被害を受けたことに伴い、当第2四半期連結累計期間において、「災害による損失」として事業資産の修繕費用等29,611千円を特別損失に計上しております。なお、現時点で合理的に見積もることが困難な費用等については、「災害による損失」には含めていないため、当該計上額は今後変動する可能性があります。

また、上記台風被害に係る損害に対する保険収益20,000千円を「受取保険金」として特別利益に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計 (注)
	曳船事業	旅客船事業	売店・食堂事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,725,628	1,343,030	366,346	6,435,005	—	6,435,005
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,155	28,204	2,148	31,508	△31,508	—
計	4,726,784	1,371,235	368,494	6,466,514	△31,508	6,435,005
セグメント利益又は損失(△)	554,043	9,036	△9,814	553,265	—	553,265

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計 (注)
	曳船事業	旅客船事業	売店・食堂事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,380,106	1,325,190	331,819	6,037,115	—	6,037,115
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,986	19,246	2,657	23,890	△23,890	—
計	4,382,092	1,344,436	334,476	6,061,005	△23,890	6,037,115
セグメント利益又は損失(△)	232,522	△25,092	△19,108	188,320	—	188,320

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。